

## 第14回みどりのまちづくり賞 表彰式・講評会

令和8年1月22日(木)に、大阪歴史博物館4階講堂にて、みどりのまちづくり賞の表彰式・講評会が開催されました。  
講評会は表彰式の後に行われ、大阪府知事賞、花博協会会長賞、CLA関西支部長賞を受賞された5作品の代表者から発表がありました。作品・活動の紹介後、審査委員による講評がありました。

### ■講評にあたっての審査委員長の言葉

講評にあたり、武田審査委員長は以下のように総評されました。  
「本賞は今回で14回を迎え、これまでデザイン部門で66作品、マネジメント部門で51作品の計117作品が表彰されてきました。それぞれの創意工夫が積み重なって、大阪らしいランドスケープが展開されてきました。

本年度は大阪・関西万博が開催されましたが、万博をめざして進められてきた事業が多くあり、大阪のイメージが刷新される機会にもなったのかなと思います。

今年度の応募作品は、デザイン部門で18作品、マネジメント部門で6作品と、昨年度より多くの応募作品がありました。  
ランドスケープデザイン部門では、その場所のイメージを大きく変えて牽引していくようなデザインの作品が多く、都市機能の増進やコミュニティ機能など緑の持つ多様な価値を再認識できる作品を多く感じました。

ランドスケープマネジメント部門では、伝統的な造園技術の継承から、そのような技術や知見をまちづくりに展開していく取り組みまで、豊かな緑の管理運営がみられました。

万博を契機として会場内外で素晴らしいランドスケープが展開されてきたことは、大阪府民のみならず、世界の方々も含めて多くの人々に印象に残ったことかと思えます。次は、この魅力ある万博のレガシーを日常的な大阪のまちづくりにどうつないでいくかというフェーズになると思います。そこに住んでいる方々にとって魅力的なランドスケープであることが、人々を集めることにつながっていくといいのではないかと思います。みどりのまちづくり賞という大阪におけるランドスケープのコミュニケーションが起点となってさらに発展していくことを期待しています。」

### ■まとめの言葉

武田審査委員長から、本賞を通じて感じたこととして、「デザインやマネジメントに取り組む態度や姿勢みたいなことの素晴らしさ」と「造園技術・ランドスケープ技術の素晴らしさ」の2点が挙げられました。

1点目「デザインやマネジメントに取り組む態度や姿勢みたいなことの素晴らしさ」については、コンセプトからデザイン・マネジメントまで一貫して思想を持ち続けることの大事さ、色々な方々が寄り集まってどうすれば全体でよい環境が作られるのかというフォローアップの姿勢とランドスケープの高い親和性について述べられました。

2点目「造園技術・ランドスケープ技術の素晴らしさ」については、ランドスケープは生き物を扱うことによって、人々の関わりやすさを生み出すことや、時間経過による変化を魅力に変えていくことについて述べられました。

編集・構成 友國 慎也



▲受賞作品のパネル展示



▲表彰の様子



▲受賞者による作品紹介



▲武田審査委員長による全体講評



▲受賞者と審査委員の記念集合写真

## 一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 関西支部

私たちは、自然や緑と一体となった環境づくりに携わる職能団体です。

正会員 (50音順) 23社	連絡先電話番号	連絡先電話番号	
㈱ 荒木造園設計	(072)761-8874	㈱ 地球号	(06)6945-7566
㈱ 荒谷建設コンサルタント	(082)292-5481	㈱ 辻本智子環境デザイン研究所	(0799)72-0216
㈱ エス・イー・エヌ環境計画室	(06)6373-4117	㈱ 中根庭園研究所	(075)465-2373
㈱ オオバ大阪支店	(06)6228-1354	㈱ ニュージェック	(06)6374-4032
環境設計 ㈱	(06)6261-2144	復建調査設計 ㈱	(082)506-1853
㈱ 環境緑地設計研究所	(078)392-1701	ハツフィックコンサルタンツ㈱大阪支店	(06)4799-7311
キタイ設計 ㈱	(0748)46-2336	㈱ ヘッス	(06)6373-9369
㈱ 空間創研	(075)823-6331	㈱ リアライズ造園設計事務所	(06)6941-1151
㈱ 現代ランドスケープ	(06)6203-1270	㈱ 緑景	(06)6763-7167
㈱ 公園マネジメント研究所	(06)6947-6522	賛助会員 (50音順) 2社	
サンコーコンサルタント ㈱	(06)6121-5013	花豊造園 ㈱	(075)341-2246
㈱ スペースビジョン研究所	(06)6942-6569	㈱ S D A T	(06)6605-1166
㈱ 総合計画機構	(06)6942-1877		
㈱ 地域計画建築研究所大阪事務所	(06)6205-3600		

## 協力会社 (26社) 下記の各社より、支部活動にご協力を頂いています。

公園施設 (50音順) 11社	連絡先電話番号	舗装資材 (50音順) 5社	連絡先電話番号
㈱ アボック社	(06)6942-8466	㈱ 佐藤渡辺近畿支店	(06)6356-3388
上屋敷工業 ㈱	(0776)56-2310	太平洋ブロック工業㈱大阪支店	(06)6344-6212
㈱ コトブキ関西支店	(06)4801-8265	太陽エコブロック ㈱	(06)6466-6751
㈱ サイト	(092)925-9858	日本興業 ㈱関西支店	(06)7173-2790
㈱ サカエ西日本支社	(06)6325-2288	久保田セメント工業 ㈱	(078)304-0800
タカオ ㈱大阪営業所	(06)6397-5266	電気資材 (50音順) 1社	
㈱ タンデム	(072)986-1880	大光電機 ㈱	(06)6222-6260
㈱ 中村製作所	(06)6378-2290	緑化資材 (50音順) 2社	
㈱ 風憩セコ関西営業所	(06)6838-3356	グローベン ㈱関西営業所	(079)878-6070
㈱ ラスコジャパン	(0794)86-0081	㈱ トーシンコーポレーション	(06)6479-1433
H.O.C(エッチ・オー・シー) ㈱	(06)6395-2247		

管理施設 (50音順) 2社	施工 (50音順) 1社		
朝日ステール工業 ㈱	(06)6244-1910	㈱ 橋祥建設	(0794)89-8288
帝金 ㈱	(06)6252-3691	印刷 (50音順) 1社	
		㈱ ダイビス	(06)6312-6451

水景施設 (50音順) 4社	
㈱ アクアプラン	(06)6969-5831
㈱ ウォン	(072)870-4764
㈱ 宇都宮製作所	(06)6494-8997
日之出水道機器 ㈱	(06)6446-2687

事務局 〒530-0014 大阪市北区鶴野町4-11-1106 ㈱ エス・イー・エヌ環境計画室内 TEL:(06)6373-4117 FAX:(06)6373-4617	編集人 関西支部広報委員 委員長：荘田 隆久 副委員長：増田 将典 編集委員：多田 祥子 友國 慎也 小野 隆
発行人 一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会 関西支部 関西支部長 西辻 俊明	印刷 ㈱ダイビス
発行 一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会 関西支部 http://www.cla-kansai.jp	

## 第14回 みどりのまちづくり賞 (大阪ランドスケープ賞)

【主催】大阪府/公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会/  
一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部

### 賞の主旨

みどりのまちづくり賞は、「みどりの風を感じる大都市・大阪」を推進する大阪府、「自然と人間との共生」を掲げる公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、並びに、「みどり豊かなランドスケープデザインとマネージメント」を目指す一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部の3者が共催で実施しています。  
かけがえのないみどりを守り、増やし、豊かな環境を後世に残し、魅力的な街づくりを進めるためには、駅前や企業の敷地、公共施設の周辺などのセミパブリック空間を街並みと調和した花や緑あふれる美しい景観として創造し、さらにそれらを実現するため取り組まれている多くの人々が笑顔でつながることが大切です。  
本賞で、みどりのまちづくりに貢献する「まちが美しくなるみどりづくり」「まちが笑顔になるみどりづくり」に取り組まれた方々を表彰し、みどりへの理解が進み、美しい大阪のまちづくりに寄与できることを願っています。

※セミパブリック空間：民有地において公益的な利用を図る空間の概念のこと

### 対象

大阪府内における、みどりの景観づくり及び活動を募集します。個人、団体、企業、公共、あらゆる方面からの応募を対象としています。

### 応募部門

- ランドスケープデザイン部門  
—まちが美しくなるみどりづくり—
- ランドスケープマネジメント  
(管理運営・活動)部門  
—まちが笑顔になるみどりづくり—

### 審査方法

主催者がみどりのまちづくり審査委員会を設置し、学識者を中心とした審査委員による書類審査、現地審査並びに審査会を実施し、選考を行っています。

審査委員長：武田 重昭	(大阪公立大学大学院農学研究科緑地環境科学専攻 准教授)
審査委員：當内 匡	(株)庭樹園 代表取締役
弘本 由香里	(大阪ガスネットワーク(株) エネルギー・文化研究所 特任研究員)
高木 悠里	(大阪公立大学大学院工学研究科都市系専攻 講師)
増田 昇	(大阪府立大学名誉教授)

### 総評

みどりのまちづくり賞(大阪ランドスケープ賞2025)は、今回で第14回を迎えた。本賞の歩みを振り返ってみると、2011年度の第1回から今回を含めて、デザイン部門66作品、マネジメント部門51作品の合計117作品が表彰されてきた。これらは大阪におけるみどりのまちづくりの蓄積を示すものであるとともに、それぞれの作品における創意工夫の積み重ねによって、大阪らしいランドスケープが展開されてきた足跡を見て取ることができる。

折しも今年度は、大阪・関西万博が開催され、国内外から多くの人びとが大阪を訪れた。近年のまちづくりの現場では、この万博に向けた整備が進められてきたものも多く、大阪のランドスケープが大きく更新される機会となった。これに応じて、今年度はデザイン部門18作品、マネジメント部門6作品と多数の作品の応募があった。デザイン部門では、公共施設・民間施設ともに質の高いランドスケープがそのまちのイメージを牽引している作品が多かった。また機能面でも緑地の持つ多面的な価値が、住居や業務といった都市機能を増進するものから、医療や文化、さらには地域コミュニティを支えるものまで、ランドスケープの幅広い役割が再確認できるものであった。マネジメント部門では、伝統的な造園技術を継承しながらさらに高め、それらに立脚したまちづくりへの展開を図ろうとするものまで豊かなみどりの管理運営・活動の展開を見ることができた。

応募作品の中には、万博会場における作品も含まれたが、審査時にはすでに会期が終わり、現地審査ができなかったことも含めて選外となったが、この万博を契機に、会場内外で素晴らしいランドスケープが展開されたことは、多くのひとの印象に残るところである。これからの大阪のランドスケープ分野においては、この万博の輝きをどのように定常的にまちの魅力につなげていくかが問われるフェーズとなる。これまでの蓄積の上に、新たな交流を重ねることで、大阪のランドスケープが国際レベルで展開されていくことが求められている。この好機を最大限に生かし、市民の暮らしに根差した大の豊かなみどりのまちづくりが、来訪者にとっても魅力を感じ取れるものとして共有され、まちのトータルな美しさに貢献していく必要がある。みどりのまちづくり賞は、このような大阪におけるランドスケープ・コミュニケーションの要としての役割を担っていくものと期待している。

審査委員長 武田重昭